

地域における特別支援教育相談体制強化事業

特別支援教育について教員の専門性向上を目指しています

県教育委員会では、特別な教育的ニーズのある幼児児童生徒が地域で必要な支援を受けられるよう「地域における特別支援教育相談体制強化事業」を令和2年度から実施しています。

今年度の取組と昨年度の取組実績について一部を紹介します。



取組 1

県内6地区で県立特別支援学校が事務局となっている「地区特別支援連携協議会」において、特別な教育的ニーズのある幼児児童生徒の支援体制の充実を図るための在り方について検討会を行います。

また、昨年度に引き続き、主に小・中・高等学校の教員を対象に各地区で研修会を実施します。



取組 2

県立特別支援学校の教員が、発達障害等を含む特別な教育的ニーズのある幼児児童生徒の教育相談に応じるための「教育相談ガイドブック」の作成と活用についての研修を行います。

また、昨年度に引き続き、全ての県立特別支援学校において、障害のある幼児児童生徒に関わっている医療関係者や福祉施設関係者等を講師に招き、研修会を実施します。

個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成や活用等に関する研修会



各地区特別支援連携協議会では、長期休業を利用して研修会を実施しました。

参加者からは、「それぞれの学校での取組を知ることで、個別の教育支援計画等の作成メリットを知り、学校間の連携や引継ぎは大切だと改めて思いました。」などの感想が聞かれました。

令和2年度に開催した研修会の様子



研修会は、今年度も開催する予定です。研修会の詳細は、各地区特別支援連携協議会及び各県立特別支援学校ホームページをご覧ください。

外部人材の活用による障害に対応した専門性向上研修会



各県立特別支援学校では、新型コロナウイルス感染症拡大防止策をとりながらの演習や、オンラインの活用などの工夫をして研修会を実施しました。医療・福祉分野の視点を取り入れて授業改善等に取り組むことで、幼児児童生徒の学びの充実につながりました。

問 学校教育課特別支援教育推進室 TEL.017-734-9882



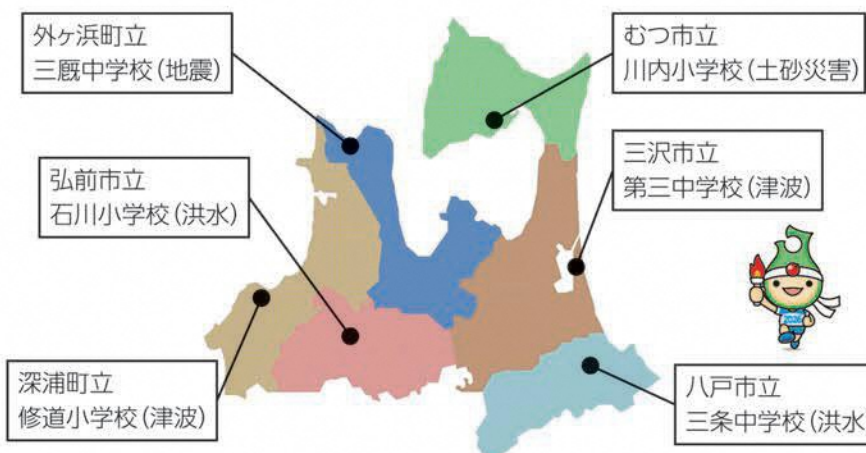
令和3年度
命を守る！
防災教育
推進事業

県教育委員会では、災害に強い人づくりのため、新しい“防災教育モデル”づくりに取り組みます！



おまもり
青森県防災
ハンドブック
公式マスコット
キャラクター

防災教育モデル研究指定校(6校)



地域の方々と連携して防災訓練に取り組みます！



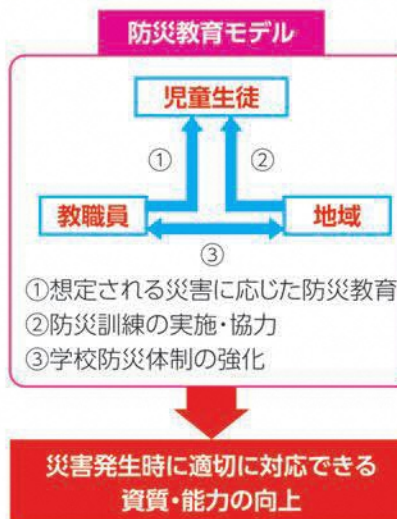
例1) 起震車による地震体験
地震が発生した際の命を守る行動
=自助について学びます。

[写真] 青森市立荒川中学校地域総合防災訓練(令和2年8月)



例2) 応急手当や心肺蘇生法の訓練
仲間と助け合う行動
=共助・公助について学びます。

災害が発生した時、適切に行動できる力を身に付けます！



児童生徒は…

- 住んでいる地域で想定される自然災害について学びます。
- 体験的な活動を通して、主体的に行動する力を身に付けます。

教職員は…

- 授業と自然災害を関連付けた防災教育に取り組みます。
- 地域と連携して学校防災体制を強化します。

地域は…

- 学校と連携して防災訓練を行い、防災教育を支援します。

「あおりおまもりノート」を活用しながら防災教育に取り組みます！

子どもたちが正しく防災を学び、災害への備えをすることで災害から命を守ることができるようにするために県防災危機管理課が制作した、記入式のワークブック。

ノートは小学校1～3年生用、小学校4～6年生用、中学生以上用の3種類がありますので、ぜひ、ご家庭でも防災への理解を深めるためにご活用ください。



データは県庁ウェブサイトからダウンロードできます！

問 スポーツ健康課 体育・健康グループ TEL.017-734-9908